産学官連携推進レター

2011.7．1 Vol.47
社会連携センター
発行　産学官連携推進部門
liaison@cc.nara-wu.ac.jp

晩秋の大学構内（奈良女子大学メールマガジンより抜粋）

新年度となりましたが、震災の影響で６月頃に予定されていた各種イベントが９月以降へと変更になっています。

1．平成２２年度　共同研究等の件数データ

平成２２年度、受託研究、共同研究、委託研究、および寄付金についての件数データをお知らせいたします。

共同研究	（継続）	文学部	■
		生活環境学部	■
	（新規）	理学部	■■□
		生活環境学部	■■■■■ ■■■■■ ■■■■□
		人間文化研究科	■■
		共生科学研究センター	□
		社会連携センター	■
受託研究	（新規）	理学部	■
委託契約	（新規）	文学部	■
		理学部	■
		生活環境学部	■■
		人間文化研究科	■■
		共生科学研究センター	■
寄付金	（継続）	理学部	■
	（新規）	国際課	■■■
		文学部	■■
		理学部	■■■
		生活環境学部	■■■■■ ■■■■■
		人間文化研究科	■■■■■
		共生科学研究センター	■
		社会連携センター	■
		古代史・環境史プロテオミクス研究創成事業本部	■

■は本学への研究費納入があったもの、□は、必要経費を先方で処理する形態等により、本学への研究費納入がないものです。
また、競争型教育研究プログラム等はこのデータには含まれていません。

寄付金は各種振興財団様よりの研究助成金が主として含まれます。ここには本学または附属学校の育友会関係費についてはカウントしていません。

2．ＪＳＴ公募事業案内

■１■　戦略的創造研究推進事業　先端的低炭素化技術開発（ＡＬＣＡ）

今後（中長期：2030～2050）温室効果ガスの排出量を大幅に削減し、明るく豊かな低炭素社会の実現に大きく貢献する先進的技術を創出するための挑戦的な研究開発を推進。将来の見通しが明確な技術の展開ではなく、新たに構築されるべき体系的な学理（サイエンス）に裏付けされた新原理探究とその応用などのチャレンジな研究開発による、ブレークスルーの実現や既存の概念を大転換する『ゲームチェンジング・テクノロジー』の創出を目指す。

今年度は、特定領域（5技術分野）での「研究開発課題（プロジェクトステージ）」の提案に加え、
〇非特定領域での「研究開発課題探索（探索ステージ）」の提案が募集されます！
〇探索ステージの規模（1年以内）5百万円以内
〇採択予定件数：100件程度を想定 → このなかから10%程度が翌年以降のテーマ継続認可を受ける予定です。

・「ゲームチェンジング・テクノロジー」の創出を目指した挑戦的な研究開発
・異分野研究の融合や多様な経験を持つ研究者・技術者の融合等を歓迎
が歓迎されます！

1. 評価基準
 a. 事業の目的に合致
 b. 技術領域の趣旨に合致
 c. 温室効果ガス排出削減に大きな可能性を有する技術の創出や実用化の可能性がある
 d. 研究開発課題の目標および研究開発計画が妥当である
 e. 研究開発の実施体制、予算、実施規模が妥当である

2. 本事業の対象となる研究開発の要件
 a. 長期的な研究開発の展望と課題の設定
 b. マルチスケール性の確保
 c. 創出する研究開発成果の優位性
 d. 異分野研究者や若手研究者らの参画
 e. 国家的戦略に基づく研究開発
 （文部科学省低炭素社会づくり研究開発戦略）

募集の対象とならない研究開発提案
・原子力発電・核融合に関する研究開発提案
・エネルギー保存の法則等に反する「いわゆる永久機関」の研究開発提案
・気候変動に伴う環境変化により生じる影響の高精度予測と
 その影響に対する実効性のある対応・対策に関する研究
 （適応策）に該当する研究開発提案
・地球環境を継続的に把握するための体系的観測に該当する研究開発提案
・CO2の地中・海底埋蔵等に関する研究開発提案
・地中・海水中・海底等の有用資源開発に関する研究開発提案
・いわゆる研究・教育拠点形成、若手育成を主たる目的とする提案
・いわゆる研究者コミュニティの形成を目的とする、
 多数のテーマの集合としての提案

申込みは府省共通研究開発管理システム（e-Rad）から！
http://www.e-rad.go.jp/
課題提案応募受付締め切り
 （e-Radによる受付期限日時）
平成23年**7月20日**（水）正午12時

選考スケジュール
 書類選考期間 ７月下旬～８月下旬
 書類選考結果の通知 ８月下旬～９月上旬
 面接選考期間 ９月上旬～９月中旬
 研究開発課題の通知・発表 ９月下旬～１０月上旬
 研究開発開始 １０月以降

■２■　研究成果展開事業産学共創基礎基盤研究プログラム 「革新的構造用金属材料創製を目指したヘテロ構造制御に基づく新指導原理の構築」

平成２３年度より、産学イノベーション加速事業【産学共創基礎基盤研究】は研究成果最適展開支援事業と統合し、新たに設立された「研究成果展開事業」の1プログラムとなりました。

本技術テーマでは、革新的な構造用金属材料の創製のための基盤技術と指導原理の構築のための基礎基盤研究を行い、今後数十年～百年にわたる我が国の社会基盤の強化と、製造業の国際競争力の維持・強化に資する成果を得ることを目指します。
本技術テーマでは、金属材料中の様々な不均一性（ヘテロ構造）を積極的に利用することを考えます。そして、強度、延性、じん性、加工性、耐環境性など、構造用金属材料に要請される諸性質の飛躍的な改善、さらには、従来は両立が困難であった複数の機能を同時に向上させるような革新的な材料設計・開発思想を確立することを目指します。今までの金属学、材料工学の知識の延長線上での取り組みを超えた新たな学術的、技術的な指導原理を構築できる独創的な基礎基盤研究を推進します。
特に今年度は次の２点を重点的に募集します。
力学特性（強度、靭性、破壊、軽量化、長寿命化、等）
耐環境性（耐熱性、耐食性、水素脆性、等）

１課題あたり最大3千万円／年程度（間接経費を含む）
研究期間 ： 各研究課題の研究期間は原則2年です。

申込みは府省共通研究開発管理システム（e-Rad）から！
http://www.e-rad.go.jp/
課題提案応募受付締め切り
 （e-Radによる受付期限日時）
平成23年**8月8日（月）**正午12時

選考スケジュール
 書類選考 公募締切～9月上旬
 書類選考結果の通知 9月上旬
 面接選考 9月11日（日）
 採択課題の決定、通知、公表 9月下旬
 産学の対話、研究計画作成、研究契約締結、研究開始 10月以降

本学ではJSTへの申請に際し、イノベーションプラザ京都で相談にのってもらっています。
研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）では書類のチェックなどを行っていただき、**「魅力的な申請書類」**という視点で実際に何人かの先生方に申請前に再度記載方法を検討いただき、採択率の向上にもつながっているように感じています（イノベーションプラザ京都は今年度でプラザ閉館が決定しています。）。
　　イノベーションプラザ京都への相談へはhttp://www.kyoto.jst-plaza.jp へ 直接、または社会連携センター藤野（3734）までご連絡ください。

３．各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html
また本学に募集のあった共同研究の公募については
http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html

(独)科学技術振興機構
【学内締切】平成２３年7月7日
【助成対象】戦略的創造研究推進事業　先端的低炭素化技術開発(ALCA)
①研究開発課題（プロジェクトステージ）②研究開発課題探索（探索ステージ）
技術領域についてはHPでご確認ください
【助成金額】①年間1千万円～1億円程度/件　②500万円以内/件
【応募対象】申請は電子申請のみ　e-Radポータルサイト
応募される方は学内締切までに提案書の写しを研究協力係に提出願います
【問い合わせ】 http://www.jst.go.jp/

(財)浦上食品･食文化振興財団　平成23年度研究助成
【公募時期】平成２３年7月１０日（期間内必着）
【助成対象】食品の生産･加工及び安全性等に関する研究
【助成金額】上限300万円/件
【応募対象】申請は申請書郵送と電子ファイル（CD-Rを申請書に同封、もしくはメール添付）両方要
【問い合わせ】 http://www.urakamizaidan.or.jp/

上町台地マイルドHOPEゾーン協議会　平成23年度調査研究事業
【公募時期】平成２３年7月１１日午後５時（期間内必着）
【助成対象】上町台地マイルドHOPEゾーンにおける自然･歴史･文化(アート)に関連した、個人による
学術的調査研究
【助成金額】上限15万円/件
【応募対象】申請は電子メール、持参又は郵送
【問い合わせ】 http://uemachi-hope.net/

(公財)稲盛財団　平成24年度稲盛財団研究助成
【学内締切】平成２３年7月１３日
【助成対象】自然科学系、人文･社会科学系　H24年度優先分野:自然科学系において「情報科学」
「生命科学(分子生物学・細胞生物学・神経生物学)」分野
【助成金額】100万円/件
【応募対象】自然科学系では40歳以下の若手研究者を優先　財団へ申請書を請求の場合は「平成24年度
研究助成申請書送信希望」の旨をE-mailで連絡のこと　grants@inamori-f.or.jp
【問い合わせ】 http://www.inamori-f.or.jp/

三井物産(株)　三井物産環境基金 2011年度東日本大震災 復興助成(研究助成)
【学内締切】平成２３年7月１５日
【助成対象】東日本大震災の被災により発生した環境問題の改善・解決、及び被災した地域における地球環境に
配慮した持続可能な社会の復興・再生を行う研究
【助成金額】総額6億円
【応募対象】応募前の研究も遡って助成　申請書は紙媒体とCD-R等電子記憶媒体を郵送
【問い合わせ】 http://www.mitsui.com/jp/ja/index.html

(公財)大川情報通信基金　2011年度研究助成
【公募時期】平成２３年7月１５日（期間内必着）
【助成対象】情報･通信分野に関する調査･研究
【助成金額】100万円/件
【応募対象】電子メール申請不可
【問い合わせ】 http://www.okawa-foundation.or.jp/

(公財)日本自然保護協会　2011年度(第22期)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成
【公募時期】平成２３年７月１５日（消印有効）
【助成対象】 A.国内研究助成(自然保護のための調査研究)　B.国内活動助成(自然保護・普及活動)
【助成金額】 総額上限1800万円
【応募対象】持参・宅急便の場合は7/15必着
【問い合わせ】 http://www.nacsj.or.jp/

(財)松尾学術振興財団　第24回(平成23年度)松尾学術研究助成
【学内締切】 平成２３年７月１５日
【助成対象】原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究、
及びそれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究
【助成金額】上限500万円/件
【応募対象】若手研究者を優先
【問い合わせ】 http://www.matsuo-acad.or.jp/

(財)井上科学振興財団　第4回(2012年度)井上リサーチアウォード
【学内締切】平成２３年７月１５日
【助成対象】自然科学の全分野
【助成金額】 1千万円/人
【応募対象】博士の学位取得後9年未満(2012/3/31現在)の研究者(出産、養育のための研究中断期間は
年限に含めない)申請は郵送とEメールの両方要
【問い合わせ】 http://www.inoue-zaidan.or.jp/

(財)ユニベール財団　2011(平成23)年度研究助成
【学内締切】平成２３年７月１５日
【助成対象】 1.長寿社会における社会保障制度・政策、経済　2.高齢者の心・健康・生活
3.豊かな長寿社会の実現
【助成金額】上限100万円/件
【応募対象】申請資格:大学院生申請可　但し、博士前期課程在籍者は、指導協力教員を必要とする
【問い合わせ】 http://www.univers.or.jp/

(公財)国際科学技術財団　2012年度研究助成
【学内締切】平成２３年７月１５日
【助成対象】領域Ⅰ「環境、エネルギー、社会基盤」分野、領域Ⅱ「健康、医療技術」分野
（2012年(第28回)日本国際賞受賞対象分野）
【助成金額】 100万円/件
【応募対象】応募資格:35歳未満(2011/11/30現在)、間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外、
提出書類は、紙媒体と、CD-R/DVD-Rに記録したものを郵送
【問い合わせ】 http://www.japanprize.jp/

(財)岩谷直治記念財団　第38回(平成23年度)岩谷技術研究助成候補者推薦
【学内締切】平成２３年７月１９日
【助成対象】エネルギー及び環境に関する優れた研究　助成課題については要項をご覧下さい
【助成金額】上限200万円/件
【応募対象】学部長又は学長推薦要　間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外
【問い合わせ】 http://www.iwatani-foundation.or.jp/

(財)日本証券奨学財団　平成23年度研究調査助成
【学内締切】平成２３年７月２５日
【助成対象】社会科学分野(法学、経済学及び社会学)　自然科学分野(理学及び工学)
【助成金額】 100万円程度/件
【応募対象】助成対象者:55歳以下の教授・准教授・講師･助教(個人またはグループ)
代表者又はこれに準ずる者の年齢は55歳超可、所属機関の長及び同じ専門の学者の推薦書要、
オーバーヘッドは助成対象外、正本(紙文書)と副本(CD等のメディアに記録した電子文書)を提出
【問い合わせ】 http://www.jssf.or.jp/

(公財)上原記念生命科学財団　第8回特定研究助成金
【公募時期】データ送信:平成２３年7月２５日正午（期間内必着）、郵送:平成２３年7月28日（期間内必着）
【助成対象】革新的医療を創生する医学研究
【助成金額】A.1500万円/件　B.900万円/件
【応募対象】データ送信と郵送両方要
【問い合わせ】 http://www.ueharazaidan.com/

(独)科学技術振興機構　平成23年度戦略的創造研究推進事業研究提案募集(第2期)
【学内締切】平成２３年７月２８日
【助成対象】A:「CREST」(チーム型研究)　B:「さきがけ」(個人型研究)
研究領域についてはHPでご確認ください
【助成金額】A:1億5千万～5億円/件　B:3千万～1億円/件
【応募対象】申請は電子申請のみ　e-Radポータルサイト
応募される方は学内締切までに提案書の写しを研究協力係に提出願います
【問い合わせ】 http://www.jst.go.jp/

(株)リバネス　第8回リバネス研究費　A.MBL賞　B.カヤック賞
【公募時期】 平成２３年７月３１日（期間内必着）
【助成対象】 A.粘膜免疫メカニズムの解明、粘膜免疫に関する新たな分析手法や診断技術の開発、またはMBL製品を利用した粘膜免疫に関連する研究
B.Webテクノロジーに関する研究全般
【助成金額】上限50万円/件
【応募対象】申請資格:修士課程以上の若手研究者(40才以下)　修士課程在籍者可
申請には申請登録が必要
【問い合わせ】 http://www.lvns-grant.com/

(財)新村出記念財団　A.平成23年度新村出研究奨励賞　B.刊行助成事業
【公募時期】 平成２３年７月３１日（期間内必着）
【助成対象】 A.言語学・日本語学及びこれに関連する分野
B.言語学・日本語学の範囲で資料的に価値があるもので、刊行が商業的に困難と認められるもの
【助成金額】 A.60万円/件　B.総額上限100万円
【応募対象】 A.研究指導者等の推薦状要　新村出賞と併せて応募不可
B.研究奨励賞・新村出賞と併せて応募不可
詳細問合せ：返信料90円を添えて財団事務局へ
【問い合わせ】 http://www13.ocn.ne.jp/~s-chozan/index2.html

(一般財)ダノン健康・栄養普及協会　平成24年度ダノン学術研究助成金
【公募時期】 平成２３年７月３１日（消印有効）
【助成対象】「栄養と健康に関する基礎的･臨床的研究」
重点研究テーマ:小児栄養、高齢者栄養およびプロバイオティクス
【助成金額】総額1,200万円/年
【応募対象】間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外
【問い合わせ】 http://www.danone-institute.or.jp/

(公財)大和証券ヘルス財団　(第38回)調査研究助成
【公募時期】 平成２３年７月３１日（消印有効）
【助成対象】中･高年者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究
【助成金額】 100万円/件
【問い合わせ】 http://www.daiwa-grp.jp/dsh/index.html

(公財)生協総合研究所　2011年度(第9回)生協総研賞「助成事業」
【公募時期】 平成２３年８月１日（消印有効）
【助成対象】人々のくらしをめぐる研究及び生活協同組合・消費者・社会運動に関する研究
【助成金額】個人研究:上限30万円/件　共同研究:上限50万円/件
【応募対象】大学院生応募可
【問い合わせ】 http://www.ccij.jp/

（公財）上原記念生命科学財団　平成23年度研究助成

【学内締切】平成２３年８月２２日正午
【助成対象】生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究
A.研究助成金　B.研究奨励金
【助成金額】A.500万円/件　B.200万円/件
【応募対象】応募資格:B.S49/4/1以降に出生の若手研究者、学部長推薦要（1推薦者1件）、
学内締切までに申請書をメール添付で研究協力係（内線2209）まで提出願います、
データ送信と郵送両方要、間接経費（オーバーヘッド）は助成対象外
【問い合わせ】 http://www.ueharazaidan.com/

4．イベントサポート

学外より、本学でのさまざまな会合をお願いされることも多いかと思います。会合での参加者の皆様に産学官の方が入っておられることがありましたら、社会連携センター産学官連携推進部門でも設営協力させていただきますので、どうぞ c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp（藤野３７３４）へご連絡ください。

今月９日（土）に開催されます【KNS（関西ネットワークシステム）in 奈良女子大学】も生活環境学部へ打診をいただいたものを共に設営協力させていただいています。

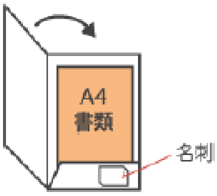
5．奈良女子大学メールマガジン

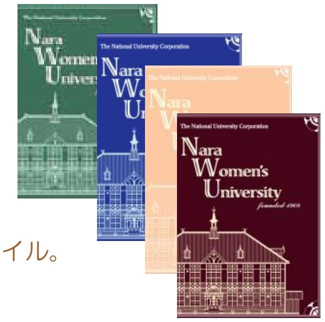
現在、社会連携センターで出しております「奈良女子大学メールマガジン」は、この７月１日（金）配信で３０５号を数えます。人気の「季節の写真便りコーナー」や「大学探検隊コーナー」でご紹介した写真は１０２００枚。現在の読者数は約７７０名です。

広報的な記事や写真がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにお知らせください。

また、 e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにメールタイトルを「登録」として空メールを送信していただけますと、登録させていただきます。研究室の学生さんなどにもご紹介してください。

6．お勧めグッズいろいろ





↑全学仕様の紙ファイル。

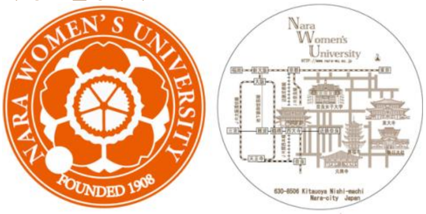
↑大学メールマガジンで紹介した写真が満載のPHOTO MESSAGE（カラーです）

↑研究紹介集 ２０１０−２０１１

↑手提げ紙袋（学生からもお洒落と好評です）

↑テーブルクロス

↑のぼり（両面仕様）



←まんまるうちわ（２０１１年はオレンジ色です。）。

産学官連携推進部門　スタッフ　城和貴（人間文化研究科）　高田将志（文学部）　高橋智（人間文化研究科）　才脇直樹（生活環境学部）鍛治幹雄（社会連携センター）　藤野千代（社会連携センター ）　大原昌一（研究協力課）　窪田順一（研究協力課　社会連携推進係）　山下ひとみ（研究協力課　研究協力係）